

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.234

2025年2月12日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通 4-10-8

学校事務実践講座

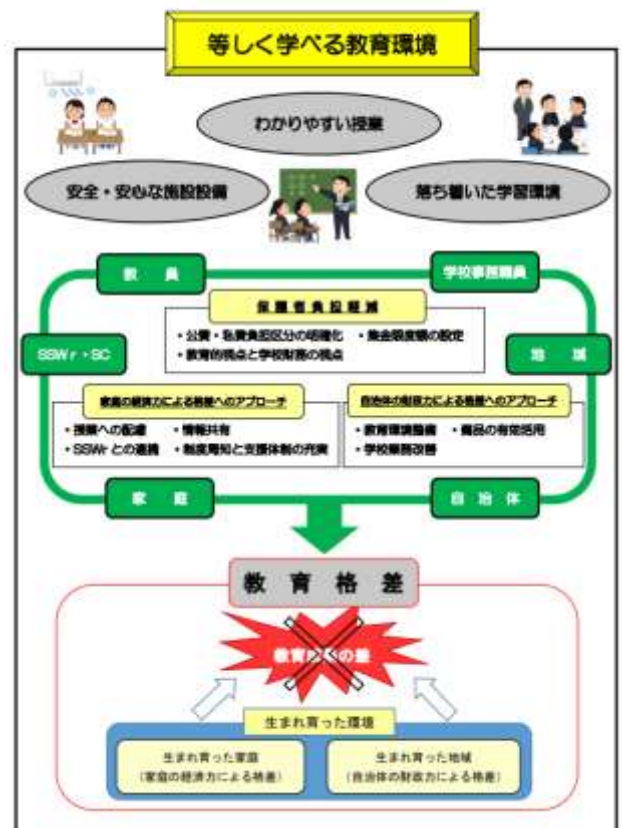
「等しく学べる教育環境をめざして」

12月に、学校事務実践講座をラッセホールで開催しました。この講座は、兵庫教育文化研究所 学校行財政部会が、学校事務職員の「より積極的な学校運営への参画」をめざす中で、学校事務職員の「研修」の一つとして企画・実施しています。

今次講座では、22年2月に発行したリポート『子どもの就学保障を考える』をもとに、各地域組合の実態等の意見交流を通して、教職員や関係機関との協力・協働により「等しく学べる教育環境」を整備するため、学校事務職員として何ができるのかを「財務管理」と「施設管理」の観点から考えることを目的としました。

憲法等が保障する「すべての子どもが等しく教育を受ける権利」が保障されていない状況にある今だからこそ、学校財務領域の視点でどのようなアプローチができるかを考える必要性について問題提起がありました。「家庭の経済力による格差へのアプローチ」、「自治体の財政力による格差へのアプローチ」として、教職員ができるとりくみについて具体的事例をもとに提起されました(右図参照)。「教育格差」を生じさせないこと・緩和することが、「等しく学べる教育環境」を整備すること、すなわち「子どもの就学保障」につながるため、学校だけでなく、保護者や地域、各関係機関の理解と協力を得る必要があるといった内容でした。

後半のグループワークでは、問題提起を受け、教職員やさまざまな関係機関と協力・協働する中で、学校事務職員がはたすべき役割を考えるとともに、各地域組合の実態等を意見交流しました。



あわせて、防犯に関する学校施設の状況や安全点検などに関する事前アンケート等の集計結果を参考にしながら、「各学校で安全・安心に過ごせるための工夫ととりくみ」についても交流しました。

「日頃、施設設備等に携わっているが、就学保障という観点から考える機会がなかったので、新たな視点で考えることができた」、「先進的な他地域の情報やとりくみを聞くことができ、自校の課題解決へむけて大いに参考になった」、「問題提起やグループ討議の内容が明確で、意見交流もしやすく、とても有意義な時間を過ごせた」といった感想がありました。

参加者のみなさんが本講座で得た学びをもとにして、すべての教職員がそれぞれの職種の専門性を生かしながら、協力・協働のもと子どもの就学保障を考え、等しく学べる教育環境整備のとりくみをさらにすすめていくきっかけとなることを期待しています。

『子どもの就学保障を考える』のレポートは各地域組合・分会・事務職員部員に配付済みですが、兵教組 HP(組合員専用ページ)にも掲載していますので、ご覧ください。【ID・パスワードは各地域組合へお問い合わせください】

